

<別紙2> 本件文書構成及び非公開情報

項目	8年2月2日 非公開	8年2月16日 非公開	8年3月15日 非公開	8年4月26日 非公開	8年5月10日 非公開	8年5月17日 部分公開	8年5月27日 部分公開	8年6月7日 部分公開	8年6月21日 部分公開
本件文書の構成等	<p>1 表紙</p> <p>2 参考資料目次</p> <p>3 全般 ア予測断面選定根拠 イ現地調査地点の選定理由 ウ予測に用いた交通量 (ア)交通量予測手法について (イ)交通量の予測時期について (ウ)交通量の安定時期について (エ)交通量の季節変動について</p> <p>4 大気汚染 ア現地調査及びバックグラウンド濃度 (ア)NO2バックグラウンド濃度の推定 (イ)気象データについての考察 イ予測手法 (ア)環境影響評価準備書に使用したNOx変換式及び年平均値への変換式 (イ)JEAモデルによる窒素酸化物の試算</p>	<p>1 表紙</p> <p>2 菅野・平田地区におけるクロマツの眺望</p> <p>3 小塚山公園の植生復元について</p> <p>4 掘割スリット構造への動物の侵入について</p> <p>5 ミヤマカメムシ及びマダラバツタについて</p> <p>6 平田・大和田の断面での環境基準を上回る交通量の試算（大気汚染）</p> <p>7 平田・大和田の断面での騒音（夜間）の環境基準を上回る交通量の試算</p> <p>8 参考資料の修正</p> <p>9 他道路沿道における大気の状態 ア 埼玉外かんの予測と現況 イ 常磐道の現況 ウ その他の副断面道路</p> <p>10 外かん整備・未整備による松戸・市川市内主要道路の交通量の変化</p>	<p>1 表紙</p> <p>2 参考資料目次</p> <p>3 環境影響評価審査会における意見と対応方針</p> <p>4 他道路における大気の状態（2/16 提出資料9の差し替え）</p> <p>5 環状道路の交通量変化について</p> <p>6 ノンポイント汚染源（非特定汚染源）</p> <p>7 外かん江戸川架橋部の濁水対策</p> <p>8 掘割部の掘削工事に伴う地下水の処理について</p> <p>9 小塚山公園における復元可能な樹種に対する対応について</p> <p>10 矢切斜面林、小塚山（小塚山公園及び小塚山緑地）の植生に与える影響（2/16 提出資料7ア(イ)の差し替え）</p>	<p>1 表紙</p> <p>2 参考資料目次</p> <p>3 環境施設帯整備イメージ</p> <p>4 矢切斜面整備イメージ</p> <p>5 景観に配慮した遮音壁の例</p> <p>6 淡水魚類、低性動物</p> <p>7 準備書の訂正（地形、地質の概況）</p> <p>8 小塚山の非開削工法について（2/16 提出資料11の差し替え）</p> <p>9 鳥瞰図（標準的な断面、交差点部、京成菅野付近）</p> <p>10 掘の内貝塚について</p>	<p>1 表紙</p> <p>2 参考資料目次</p> <p>3 工事中の予測</p> <p>4 埼玉県窒素酸化物によるNO2低減効果の試算</p> <p>5 車種混入率の比較（予測に用いる値と埼玉外かんの実測値）</p> <p>6 鳥瞰図（標準的な断面、交差点部、京成菅野付近）（4/26 提出資料9）</p> <p>7 脱硝技術について</p> <p>8 高濃度時の検討（バックグラウンド濃度が高濃度の時の試算）</p>	<p>1 表紙</p> <p>2 参考資料目次</p> <p>3 水質（2/2 提出資料5の修正版） ア 計画路線周辺河川における水質汚濁の現状について イ 工事中の水質汚濁 ウ 外かん江戸川架橋部の濁水対策（3/15） エ 橋梁工事に伴う水質について オ 掘割部の掘削工事に伴う地下水の処理について カ リチャージ工法事例 キ 薬液注入による周辺環境への影響 ク 外かん路面排水処理方法 ケ 土壌汚染調査</p> <p>4 地形地質 ア 準備書の訂正 イ ボーリング位置図</p>	<p>1 表紙</p> <p>2 参考資料目次</p> <p>3 全般 ア 予測断面選定根拠（2/2） イ 現地調査地点の選定理由（2/2） ウ 予測に用いた交通量（2/2） (ア)交通量予測手法について (イ)交通量の予測時期について (ウ)交通量の安定時期について (エ)交通量の季節変動について (ウ)外かん整備・未整備による松戸・市川市内主要道路の交通量の変化（2/16） (カ)環状道路の交通量変化（3/15） (キ)交通量現況配分検討結果 エ 構造及び縦断対応図 オ 車種混入率の比較 カ 工事中の交通量の変化及び環境に与える影響の試算</p>	<p>1 表紙</p> <p>2 参考資料目次</p> <p>3 環境保全に係る総合的施策等について</p> <p>4 掘割スリット構造とトンネル構造の比較</p> <p>5 想定地質縦断図</p> <p>6 環境影響評価準備書の訂正</p>	<p>1 表紙</p> <p>2 参考資料目次</p> <p>3 部分的蓋掛けについて</p> <p>4 換気塔について</p> <p>5 矢切斜面箇所の外かんの構造案について</p>

(注) 部分公開決定における非公開部分はアンダーラインを付した。

項目	8年2月2日 非公開	8年2月16日 非公開	8年3月15日 非公開	8年4月26日 非公開	8年5月10日 非公開	8年5月17日 部分公開	8年5月27日 部分公開	8年6月7日 部分公開	8年6月21日 部分公開
本 件 文 書 の 構 成 等	ウ SPM (ア)浮遊粒子状物質について (イ)道路沿道の浮遊粒子状物質測定結果 エ 植樹帯によるSPMやNOxの浄化について 5 水質汚濁 ア 計画路線周辺河川における水質汚濁の現状について イ 工事中的水質汚濁 ウ 薬液注入による周辺環境への影響 エ 外かん路面排水処理方法 オ 土壌汚染調査 6 騒音・振動 ア 等価騒音レベルの予測結果Laeqと等間隔等パワーモデルによるL50の比較 イ 交差部における環境保全対策 ウ 遮音壁の現音効果について	11 小塚山の非開削施工法について				5 自然環境 ア コドート [®] の選定理由、調査地点図及びコメント(2/2) イ 矢切斜面林、小塚山の植生把握、総面積、残面積、残存緑地への影響(2/2) ウ 植物の移植について(2/2) (1) 移植対策 (2) 抵触クロマツ保全対策検討 (3) 小塚山公園における復元可能な樹種に対する対応について(2/16) オ 小塚山公園蓋掛け部植生保全手順 カ 小塚山の非開削施工法について(4/26) キ 堀割スリット構造への動物の侵入について(2/16) ク ミヤマカメムシ及びマダラバッタについて(2/16) ケ 矢切斜面整備イメージ(4/26)	4 大気汚染(2/2) ア 現地調査及びバックグラウンド濃度 (ア)NO2バックグラウンド濃度の推定 (イ)気象データについての考察 イ 予測手法(2/2) (ア)環境影響評価準備書に使用したNOx変換式及び年平均値への変換式 (イ)JEAモデルによる窒素酸化物の試算 (ウ)大気汚染予測手法について ウ SPM(2/2) (ア)浮遊粒子状物質について (イ)道路沿道の浮遊粒子状物質測定結果 エ 植樹帯によるSPMやNOxの浄化について オ 他道路沿道における大気の現状 カ 高濃度時の検討(バックグラウンド濃度が高濃度の時の試算)(5/10)		

項目	8年2月2日 非公開	8年2月16日 非公開	8年3月15日 非公開	8年4月26日 非公開	8年5月10日 非公開	8年5月17日 部分公開	8年5月27日 部分公開	8年6月7日 部分公開	8年6月21日 部分公開
本 件 文 書 の 構 成 等	エ 低周波空気振 動 (ア) 低周波空気振 動予測 (イ) 低周波空気 振動調査 7 自然環境 ア植物 (ア) コドラーの選定 理由、調査地点図 及びコメント (イ) 矢切斜面林、小 塚山の植生把握、 総面積、残面積、 残存緑地への影響 (ウ) 植物の移植に ついて a 移植対策 b 抵触クロマツ保 全対策検討 イ動物					コメダカ、カマツカ、 ツマキレオナガミズ スマシ、クロベンケイ ガニ、ミヤマサナエ 及びナゴヤサナエ 確認位置図 6 景観・遺跡 ア景観に配慮した遮 音壁の例(4/26) イ堀之内貝塚につい て(4/26) ウ菅野駅から見た クロマツの眺望	キ 排出係数設定根拠 ク 脱硝技術について (5/10) 5 騒音・振動(2/2) ア 等価騒音レベル の予測結果La eq と等間隔等パワー モデルによるL50 の比較 イ 交差部における 環境保全対策 ウ 遮音壁の現音効果 について		